

沢口地区において、人と農地の問題解決のため決定された人・農地プランについて更新したので、下記のとおり公表する。

令和 3年 3月 18日

北秋田市長 津谷 永光

## 記

### 1. 対象地区

北秋田市沢口地区

### 2. 更新年月日

令和3年3月18日

### 3. 今後の地域の中心となる経営体の状況

#### (1) 経営体数

法人	53	経営体
個人	11	経営体
集落営農（任意組織）	5	組織

#### (2) 農地の集積面積

451.9 ha（区域内の農地面積 713.1 ha、集積率 63.4%）

### 4. 今後の地域農業の在り方

現在、地域の中心的な経営体として集落営農組織が営農しており、平成33年完成の圃場整備（カラムシ岱地区）を契機に中間管理機構を活用した農地集積を目指し、将来の法人化を視野に入れて話し合いを進める。また、今後高齢化等の問題で離農する農家の農地の受け手となり、地域農業の存続に努める。

新たな戦略作物（山の芋、エダマメ、夏秋きゅうり）の導入による生産拡大と加工販売による法人経営の強化を目指す。